

三五九〇番

妹いもに逢あはず あらばすべなみ 岩根踏いはねふむ 生駒いこまの
山やまを 越こえてそ我あが来くる

三五九一番

妹いもとありし 時ときはあれども 別わかれては 衣手寒ころもでさむ
き ものにそありける

三五九二番

海原うなほらに 浮うき寝ねせむ夜よは 沖おきつ風かぜ いたくな吹ふき
そ 妹いももあらなくに

三五九三番

大伴おほともの 三津みつに舟乗ふなのり 漕こぎ出でては いづれの島しま
に 廬いほりせむ我われ